



第4回セントラルパーク構想検討会

日時:平成24年2月28日(火) 午後3:00~5:00



都市整備部 緑政課



前回検討案からの追加項目について

前回からの追加項目

施設の管理運営の状況

ア 公園施設(建築物を除く)

中央芝生広場、日本庭園、作左の森、石舞台等の施設の特性や利用状況



中央芝生広場
ケヤキやクスノキ等の樹木に囲まれた多目的公園で市民に親しまれている



石舞台
薪能や舞踏の舞台としてイベントに利用されている

前回からの追加項目

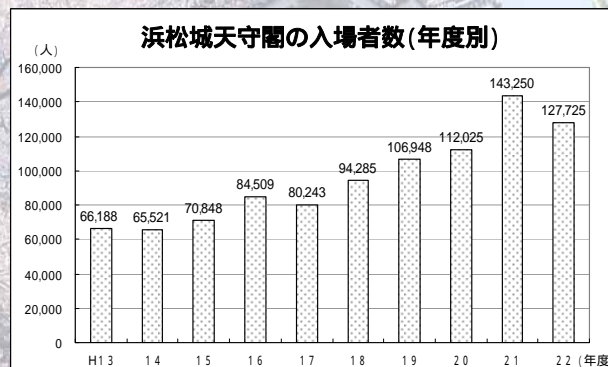
施設の管理運営の状況

イ 公園施設(建築物)

浜松城天守閣



昭和33年建築
鉄筋コンクリート造地下1階地上3階建

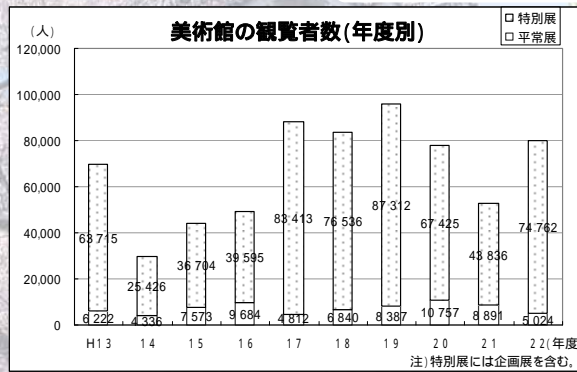


前回からの追加項目

施設の管理運営の状況
イ 公園施設(建築物)
浜松市美術館



昭和46年建築
鉄筋コンクリート造 地上2階建一部地下

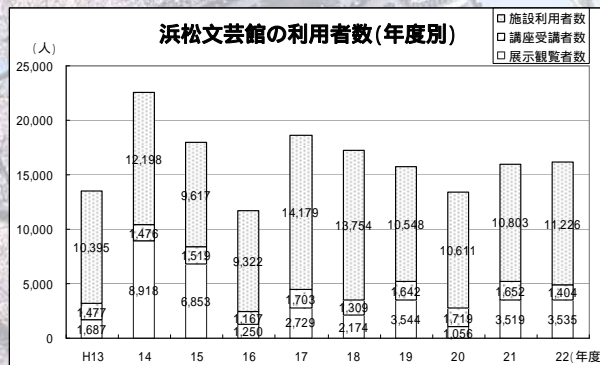


前回からの追加項目

施設の管理運営の状況
イ 公園施設(建築物)
浜松文芸館



昭和39年建築
鉄筋コンクリート造 地上3階建

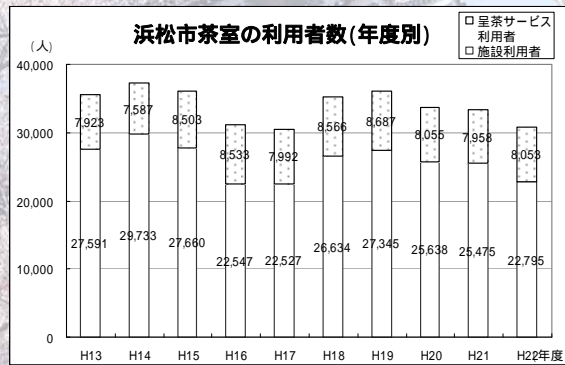


前回からの追加項目

施設の管理運営の状況
 イ 公園施設(建築物)
 浜松市茶室 松韻亭



平成9年建築
 木造 平屋建



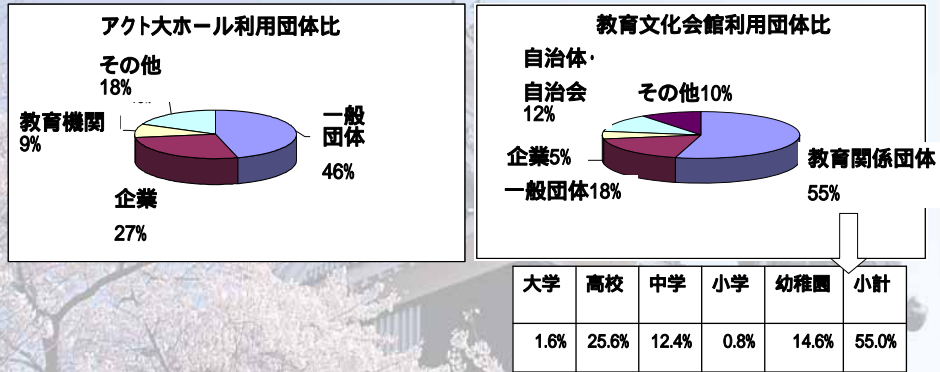
前回からの追加項目

浜松城公園で行われる主な恒例イベント

3月下旬～4月上旬 さくらまつり
 10月 浜松餃子まつり 等



新文化センター はまホールの利用状況



アクトシティの大ホールは国際的なシンポジウムや全国規模の会議あるいは興行会社によるコンサート等が主な利用。

はまホールは、市内教育関係機関の吹奏楽演奏会や演劇発表等で利用されている。

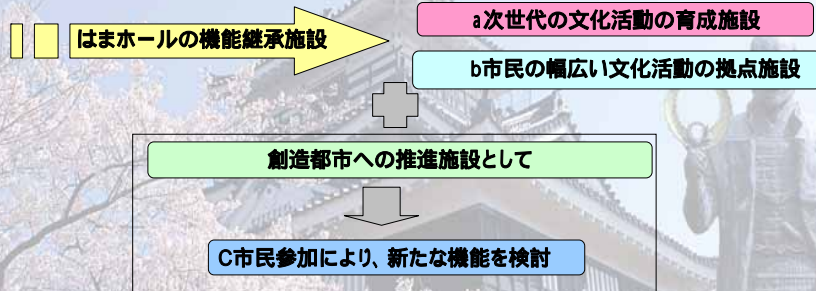
新文化センター 代替施設調査(H22)

H21年度実績	はまホール 利用日数	代替可能日数(空き状況)			代替可能率
		アクト大ホール	浜北・大ホール	計	
土日	78	3	8	11	14.1%
平日	145	10	24	34	23.4%
計	223	13	32	45	20.2%

はまホールを廃止した場合、他の代替施設で現状の利用者を割り振りできるとは、いいがたい状況であると思われる。年間17万人以上が利用している練習室を確保することも必要である。

前回からの追加項目

新文化センター 機能について



老朽化が進む「教育文化会館(はまホール)」の機能を引き継ぐとともに、創造都市への推進施設として文化創造センター的な役割を担う施設とする。

施設植栽計画

- ・施設植栽計画【案1】
- ・施設植栽計画【案2】



施設植栽計画

施設植栽計画(案1)

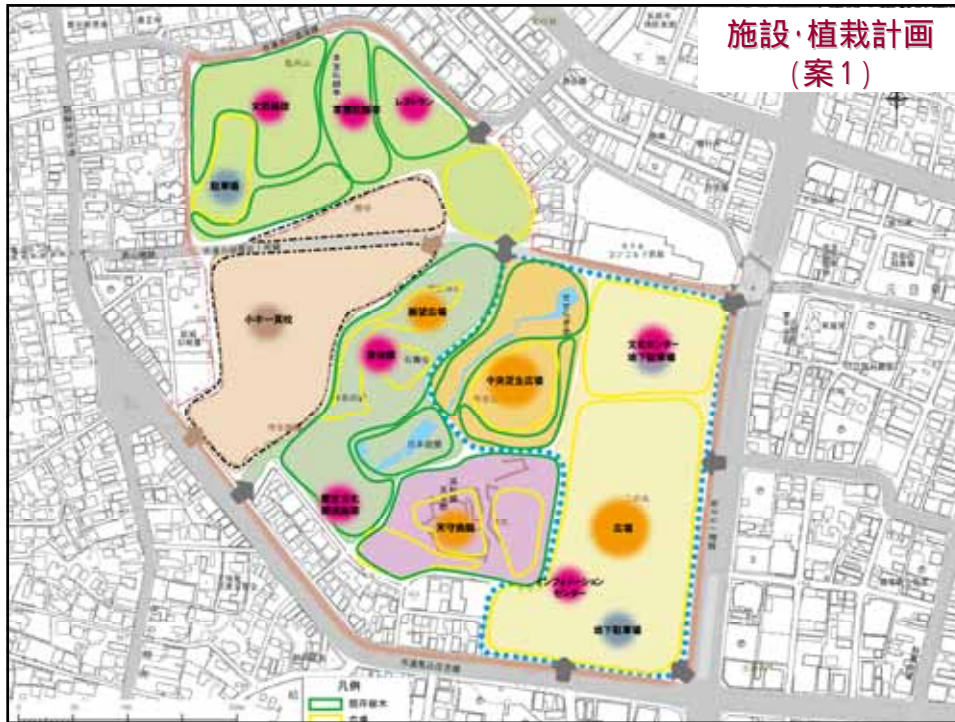
歴史の継承や緑地の保全を図り、都心の中で自然を実感できる空間と文化施設の融合を図る

施設植栽計画(案2)

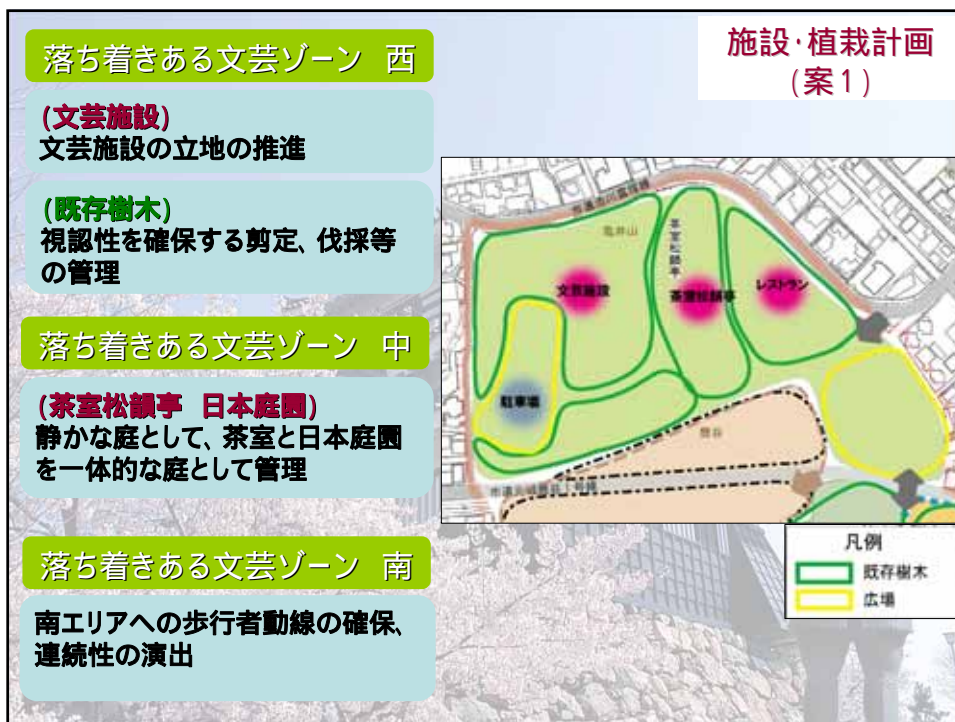
歴史の継承や都市における貴重な緑地を保全し、文化機能の集約のため新美術館と文化センターの複合化を図る



施設・植栽計画(案1)







施設・植栽計画
(案1)

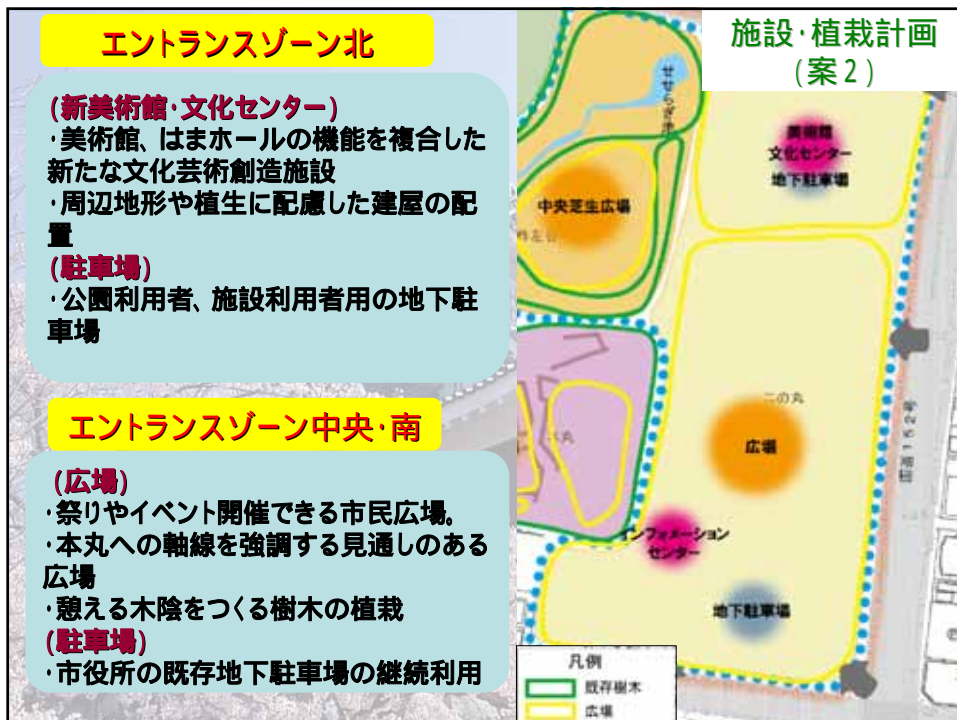
学校ゾーン

(小中一貫校)
校舎、グラウンド、体育館、プール、
付帯運動場、防災倉庫等
学校植栽の育樹

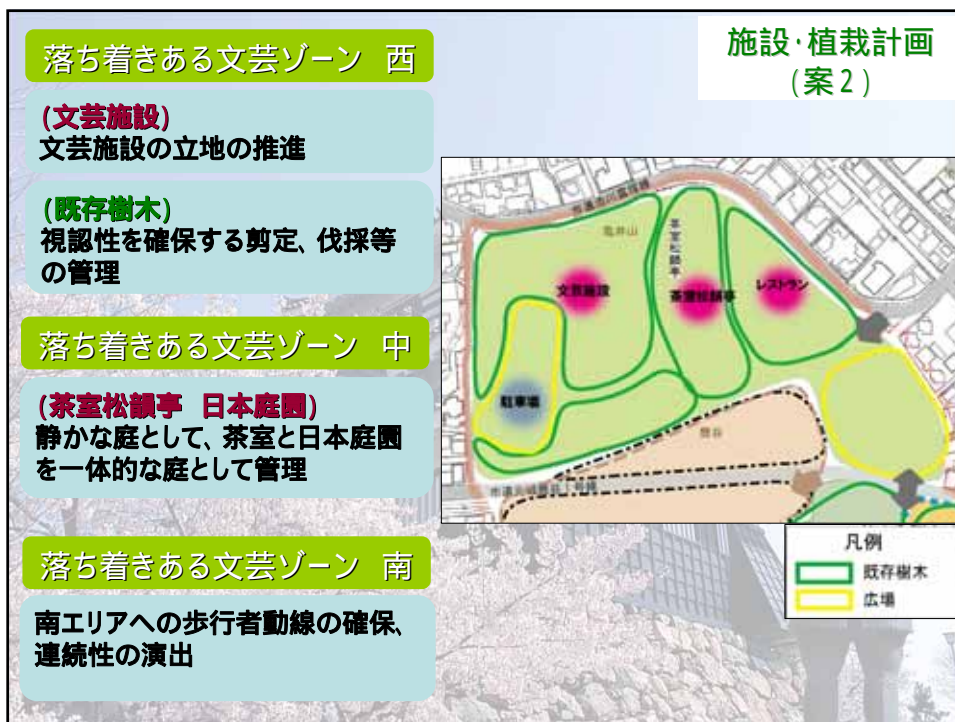


施設・植栽計画(案2)

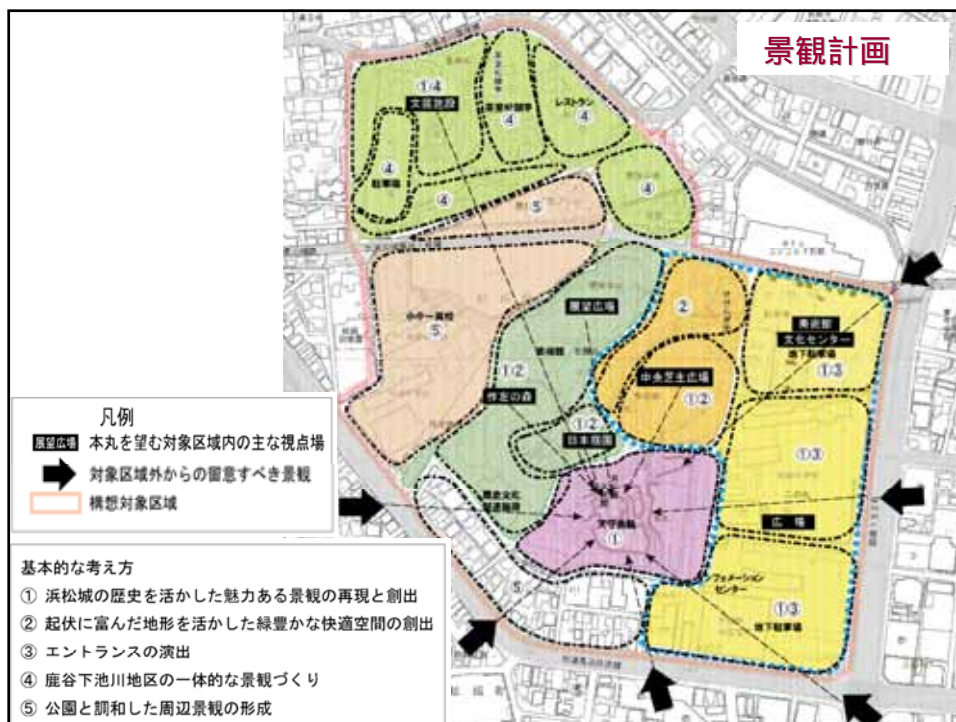












基本的な考え方

重視する点

浜松城の歴史を活かした魅力ある景観の再現と創出
起伏に富んだ地形を活かした緑豊かな快適空間の創出
エントランスの演出
鹿谷下池川地区の一体的な景観づくり
公園と調和した周辺景観の形成

浜松城の歴史を活かした魅力ある景観の再現と創出

公園内各ゾーンにおいて浜松城の歴史を重視した景観作り

・浜松城の歴史の顕在化

城本来の景観の再生のため、樹木の剪定や伐採
環境に調和した位置、形態、素材による施設整備

・本丸を望む視点場づくり

本丸のシンボル性を強調するため、園内の視点場を設定する
(展望広場、エントランス広場他)
本丸の眺望を阻害しない施設整備

・本丸から周辺への眺望に配慮した整備

天守曲輪や天守閣からの景観に配慮した樹木管理

景観計画

起伏に富んだ地形を活かした緑豊かな快適空間の創出

- ・各ゾーンの持つ特性を活かし、やすらぎ感ある緑の景観
- ・四季の彩りを感じる緑の景観を創出する植栽
- ・導入する拠点施設は、緑の環境に調和し周囲の景観に溶け込ませる
- ・園路を歩きながら地形による景観の変化を演出する

景観計画

エントランスの演出

- ・浜松城本丸を公園のシンボルとして、その正面性を活かしたエントランス
- ・美術館は、文化・芸術的な雰囲気を感じられるようなエントランスの演出

鹿谷下池川地区の一体的な景観づくり

- ・落ち着きのある文芸ゾーンとして、魅力ある施設が一体的な空間となるような景観づくり
- ・公園南側エリアへの動線を誘う景観づくり
- ・公園の一体感を高めるために、本丸を望む視点場づくり

公園と調和した周辺景観の形成

- ・浜松城公園とまちなかとのつながりを高めるための公園を望む景観、周辺景観の向上を図る
- ・周辺地域との連携により、公園の良好な景観を周辺地域の景観形成に波及できるような取り組み
- ・浜松駅や中心市街地から気軽にまち歩きが楽しめる回遊ルートマップの作成

管理運営計画(パークマネジメント)

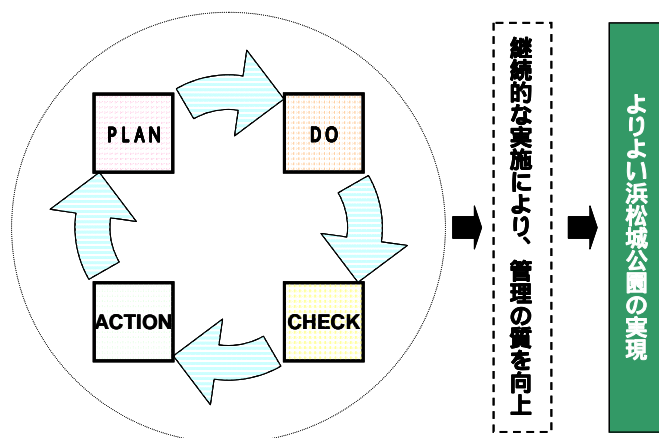
パークマネジメントとは

公園利用者の満足度向上を目的に利用者の目線で公園の管理・運営を行うこと。

パークマネジメントの考え方

基本方針である「市民と共に成長する公園」の具現化のため、市民や事業者との協働によるパークマネジメントを導入する。

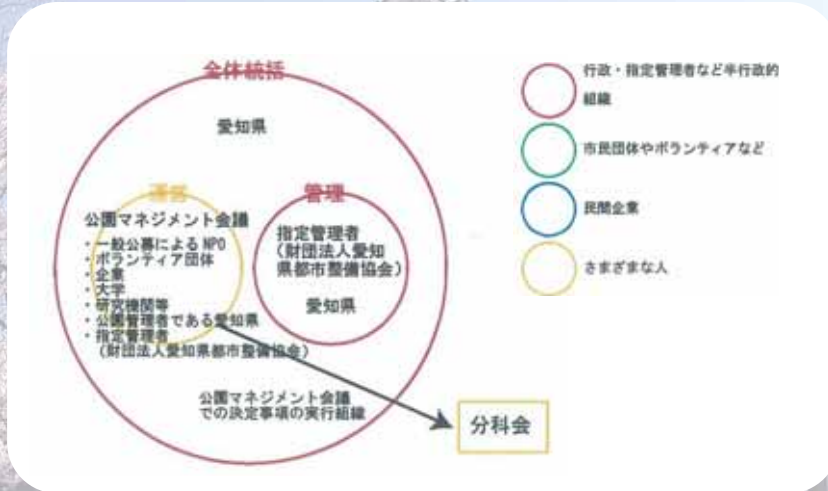
PDCAサイクルによるパークマネジメント



PDCAサイクルにより、成長する公園を具体化する。

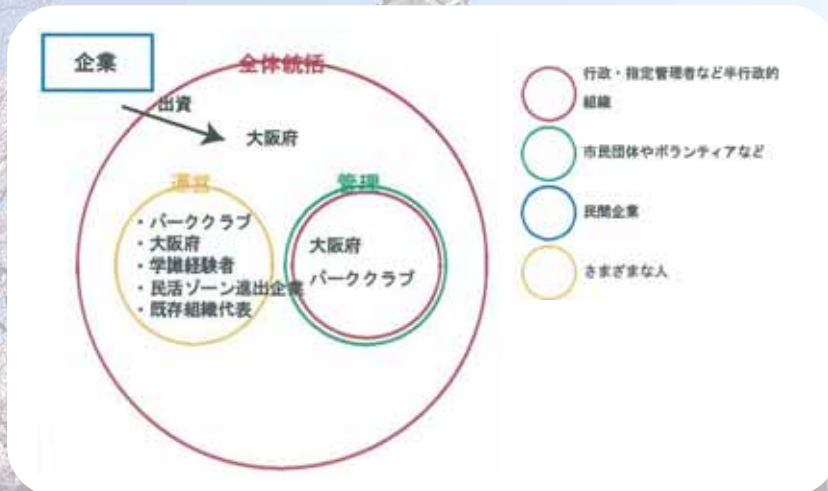
パークマネジメントの事例

組織構成の異なる場合(モリコロパーク:愛知県)



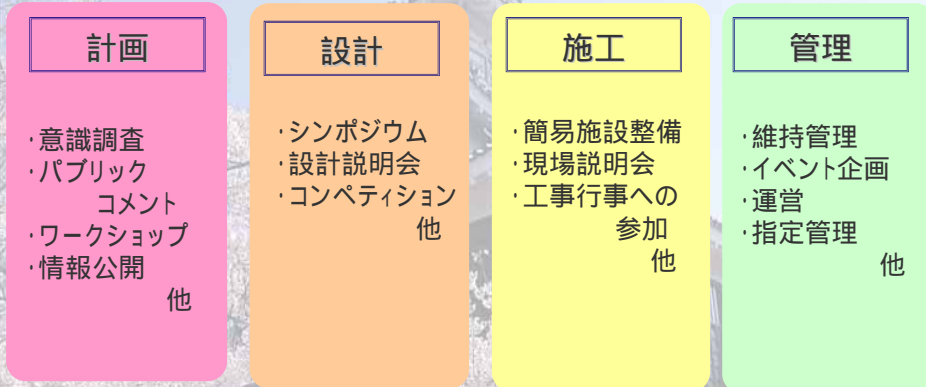
パークマネジメントの事例

市民組織を育てる場合(泉佐野丘陵緑地:大阪府)



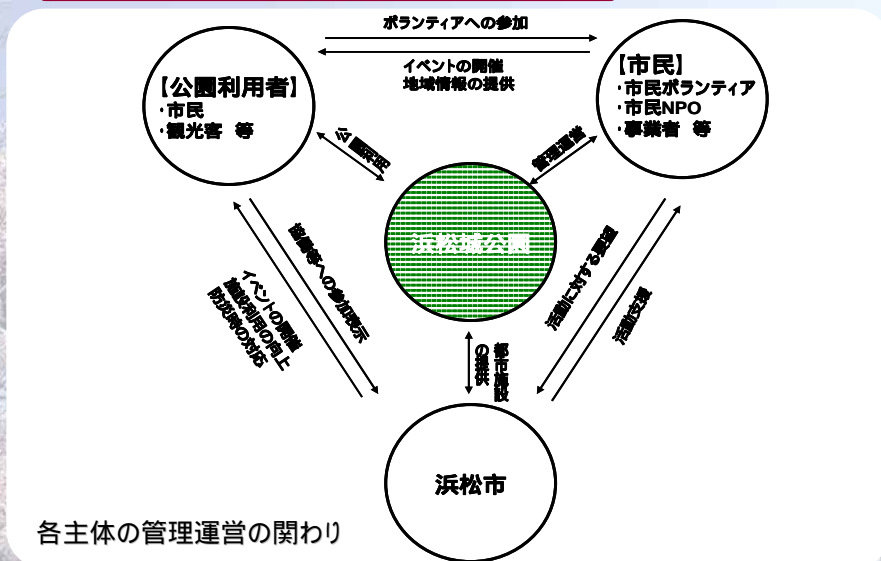
段階的な市民参加

各段階での市民参加の主な手法



市民自らが公園と関わりを持ち、つくりあげていくという意識の醸成を図る

パークマネジメントの体制と役割分担



(仮称)はままつセントラルパークマネジメント円卓会議

発展的な体制

第1段階

準備 (仮称) はままつセントラルパークマネジメント円卓会議 (準備会)



第2段階

起動 (仮称) はままつセントラルパークマネジメント円卓会議



(仮称)はままつセントラルパークマネジメント円卓会議

発展的な体制

第3段階

発展 (仮称) はままつセントラルパークマネジメント円卓会議



想定される協働組織・団体

各施設・空間を対象に
管理運営

- ・新美術館
- ・文化センター
- ・松韻亭
- ・浜松城本丸

浜松市
指定管理者
ボランティアガイド等

連携

情報交換
情報共有

公園全体を対象に
管理運営

- ・公園全体、公園緑地
- ・公園外との連携

指定管理者
観光ボランティア等

個々の特性に応じた管理運営を行う組織と公園全体を管理する指定管理者等との連携により、公園機能を多様に活かす管理運営を実践する

構想の推進に向けて

構想の推進に向けて

事業スケジュール

スケジュール

業務内容	平成23年度	平成24年度	
基本構想(全体)	基本構想		
基本計画(全体)		基本計画	基本計画以降のスケジュールは、基本計画を策定する中で調整・検討を行う。
1 公園			
2 新美術館			
3 文化センター			
4 小中一貫校			
5 市庁舎移転			
文化財試掘調査		試掘調査 旧体育館・県立広場・作左曲輪	
市民参画		パブリックコメント タウンミーティング ワークショップ 市民委員アンケート等	パークマネジメント

基本計画策定 検討会組織イメージ

推進体制

